

オルガノ株式会社
2015年3月期
第2四半期決算説明会
(2014年11月10日 16:00~)

2015年3月期 上期決算報告 及び 通期業績予想

代表取締役社長

内田 裕行

連結対象グループ会社

＜国内連結会社＞
オルガノプラントサービス
オルガノフードテック
オルガノアクティ
オルガノエコテクノ

オルガノ蘇州
(中国)

オルガノタイランド
(タイ)

オルガノ・テクノロジー
(台湾)

Organo (Asia) Sdn. Bhd. Hanoi Representative Office
Organo (Thailand) Co., Ltd.

オルガノアジア
(マレーシア)

Organo (Suzhou) Water Treatment Co., Ltd. Beijing Office
Organo (Suzhou) Water Treatment Co., Ltd.
Organo (Suzhou) Water Treatment Co., Ltd. Guangzhou Branch
Organo Corporation Taiwan Branch
Organo Technology Co., Ltd.
Organo Technology Co., Ltd. Tainan Office
Organo (Asia) Sdn. Bhd.
Organo (Asia) Sdn. Bhd. Kulim Branch
Organo (Singapore) Pte Ltd.,

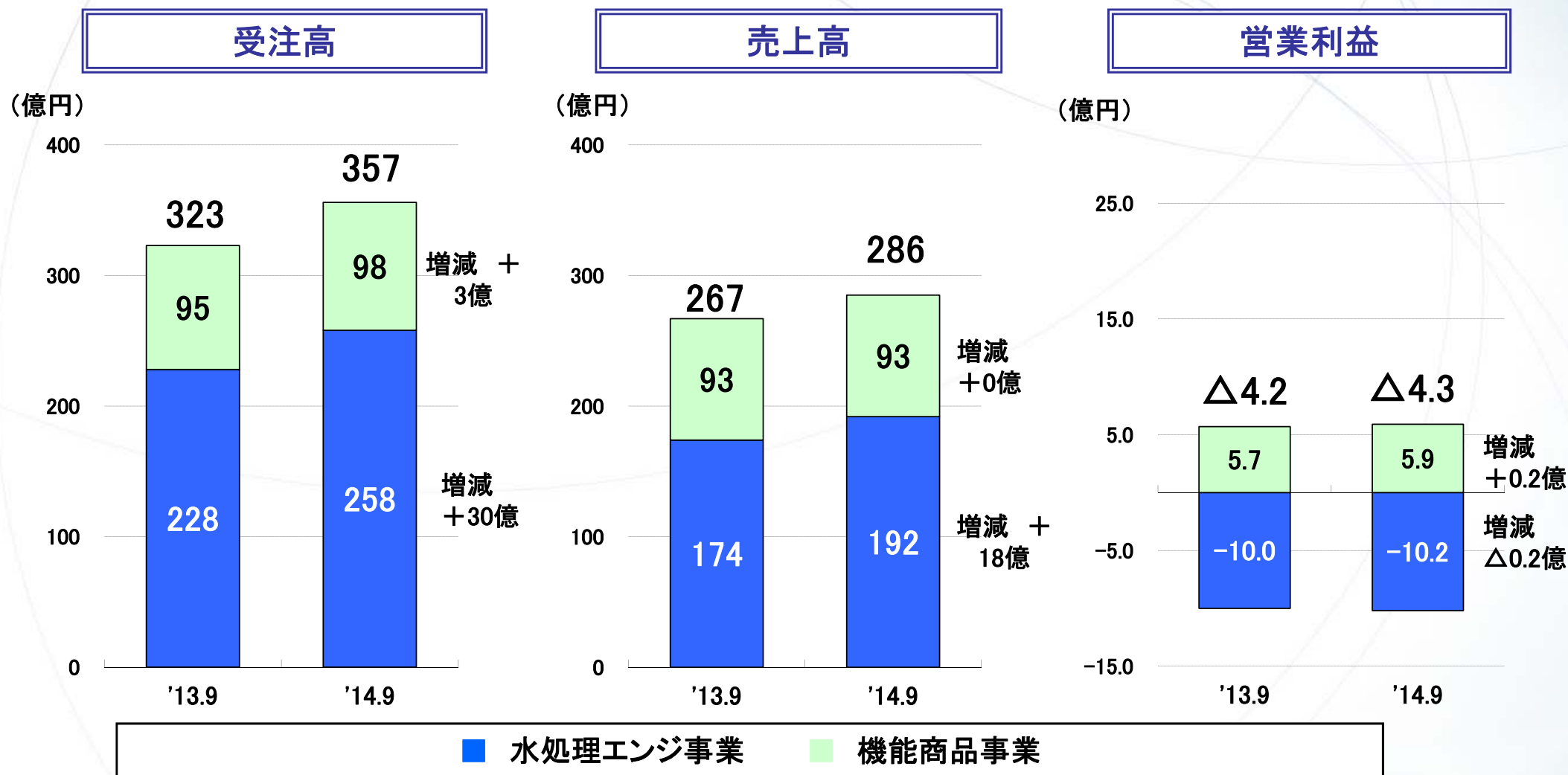
(参考: 海外非連結会社)
オルガノシンガポール
オルガノベトナム
ラウタン・オルガノ・ウォーター
(インドネシア)

2015年3月期 上期実績

(単位:億円)

	13.9 実績	14.9 計画	14.9 実績	前期差	計画差
受注高	323	350	357	+ 34	+ 7
売上高	267	300	286	+ 19	△ 14
売上総利益 (%)	64 (24.1%)	63 (21.0%)	61 (21.4%)	△ 3 △2.7pt	△ 2 +0.4pt
販管費	68	68	65	△ 3	△ 3
営業利益	△ 4	△ 5	△ 4	△ 0	+ 1
経常利益	△ 2	△ 5	△ 4	△ 2	+ 1
当期純利益	△ 1	△ 3	△ 5	△ 4	△ 2

2015年3月期 上期実績(セグメント別)

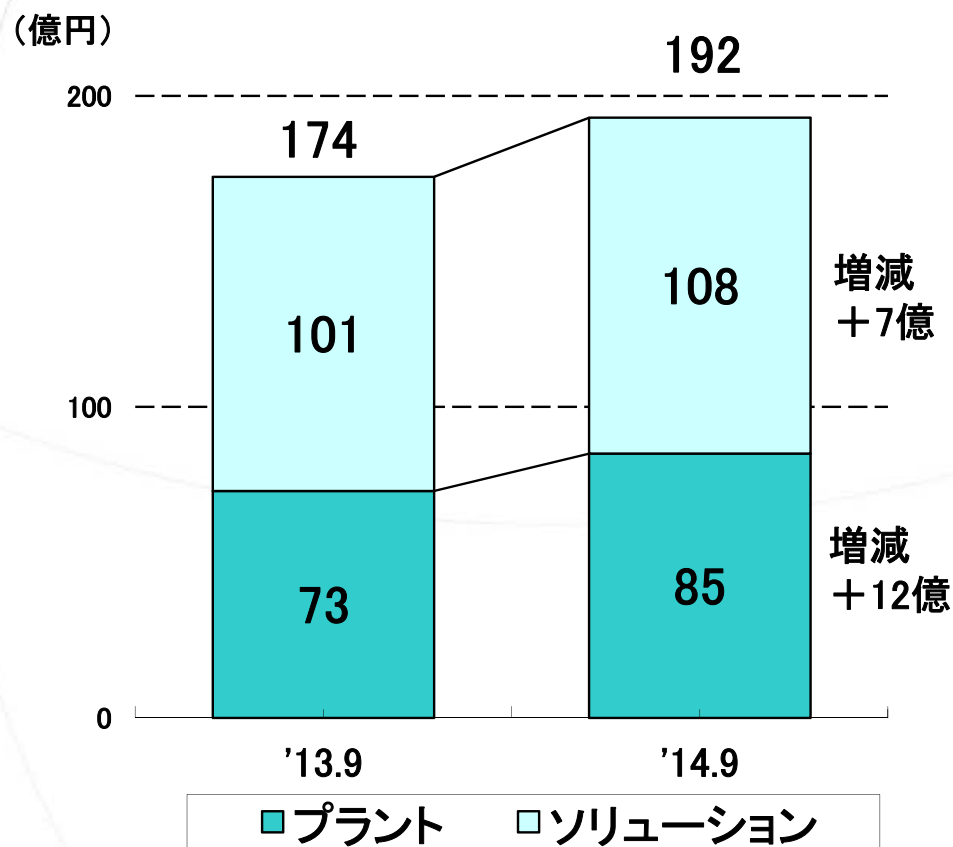


【水処理エンジ事業】：受注高については主に国内電子産業向けプラントや国内上下水道プラントで増加、売上高については海外電子産業分野で減少した一方、国内電子産業分野や一般産業分野で増加。営業利益については販管費が減少した一方、採算性低下により減少した。

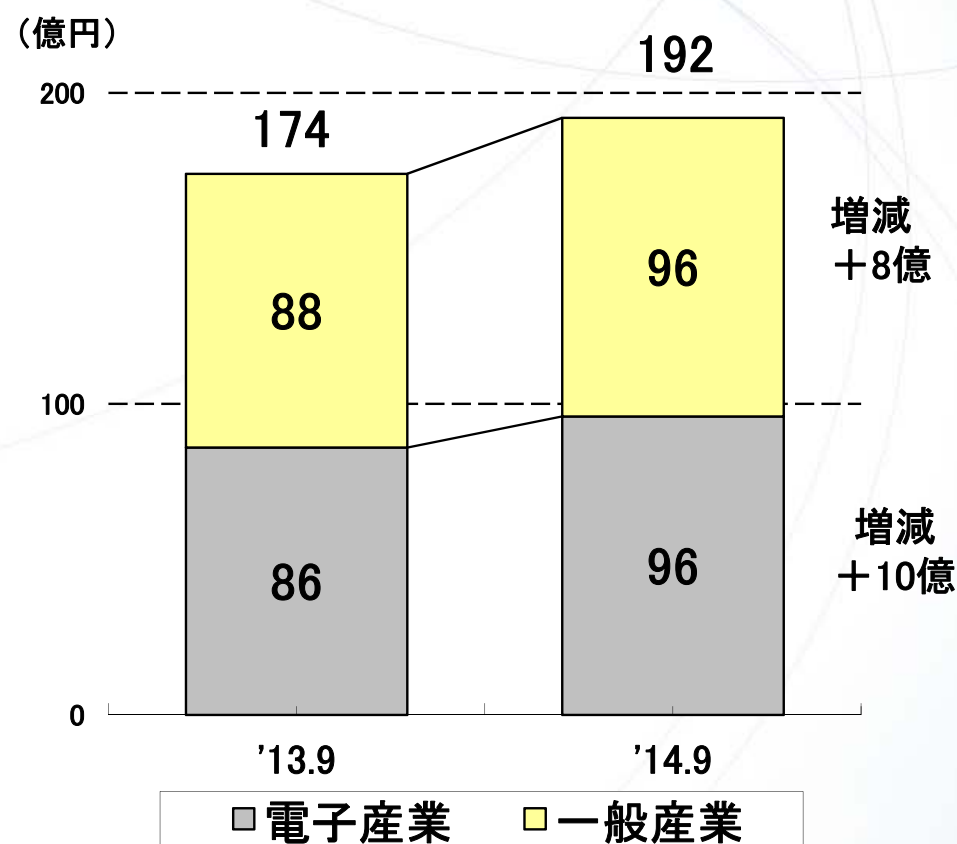
【機能商品事業】：受注高、売上高共に前年同期並み、営業利益については販管費減少により増加した。

部門・顧客別売上高(水処理エンジニアリング事業)

部門別売上高



顧客別売上高



【プラント】：主に国内の電子産業向けプラントで増加した。

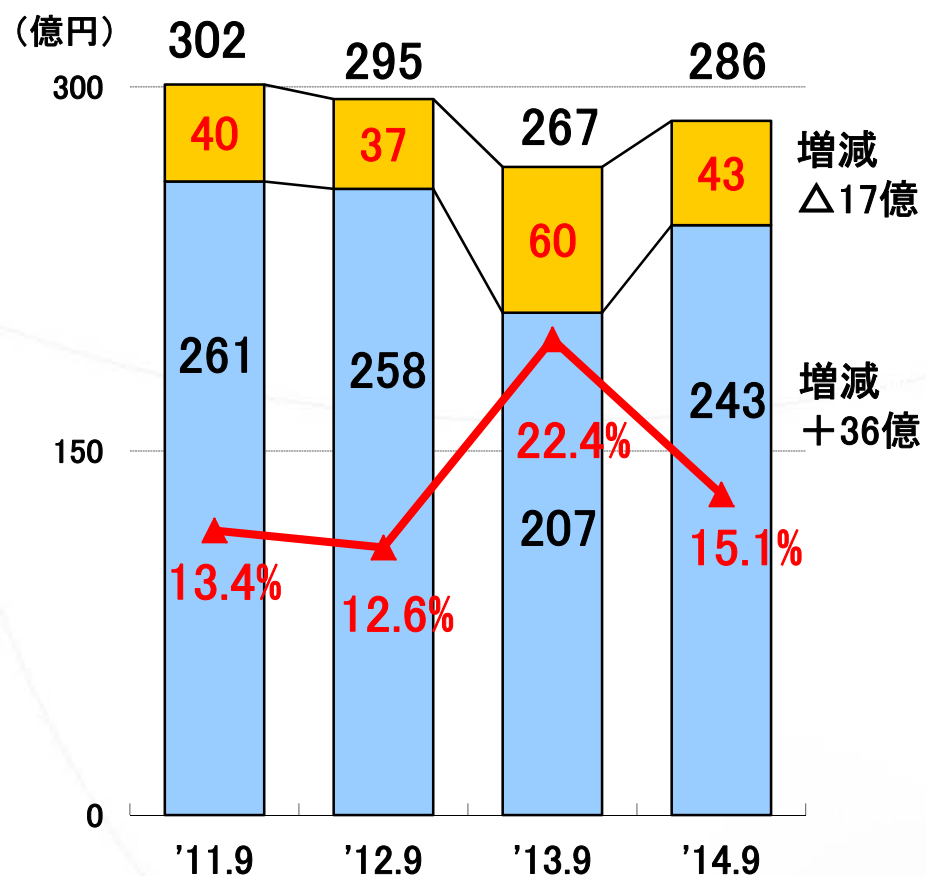
【ソリューション】：国内外の産業全般で増加した。

【電子産業】：海外で減少したが、国内ではプラント・メンテ共に増加した。

【一般産業】：主に国内の医薬向けプラントや排水プラントで増加した。

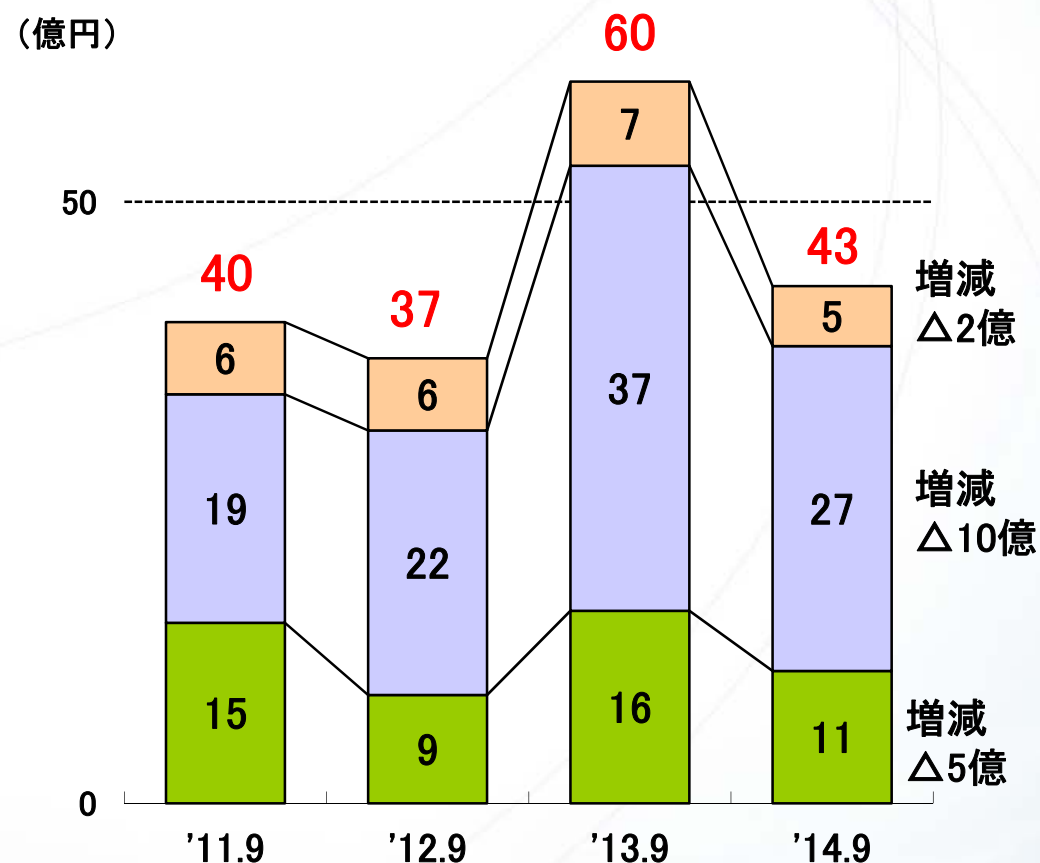
地域別売上高

国内・海外別売上高



国内 海外 海外比率

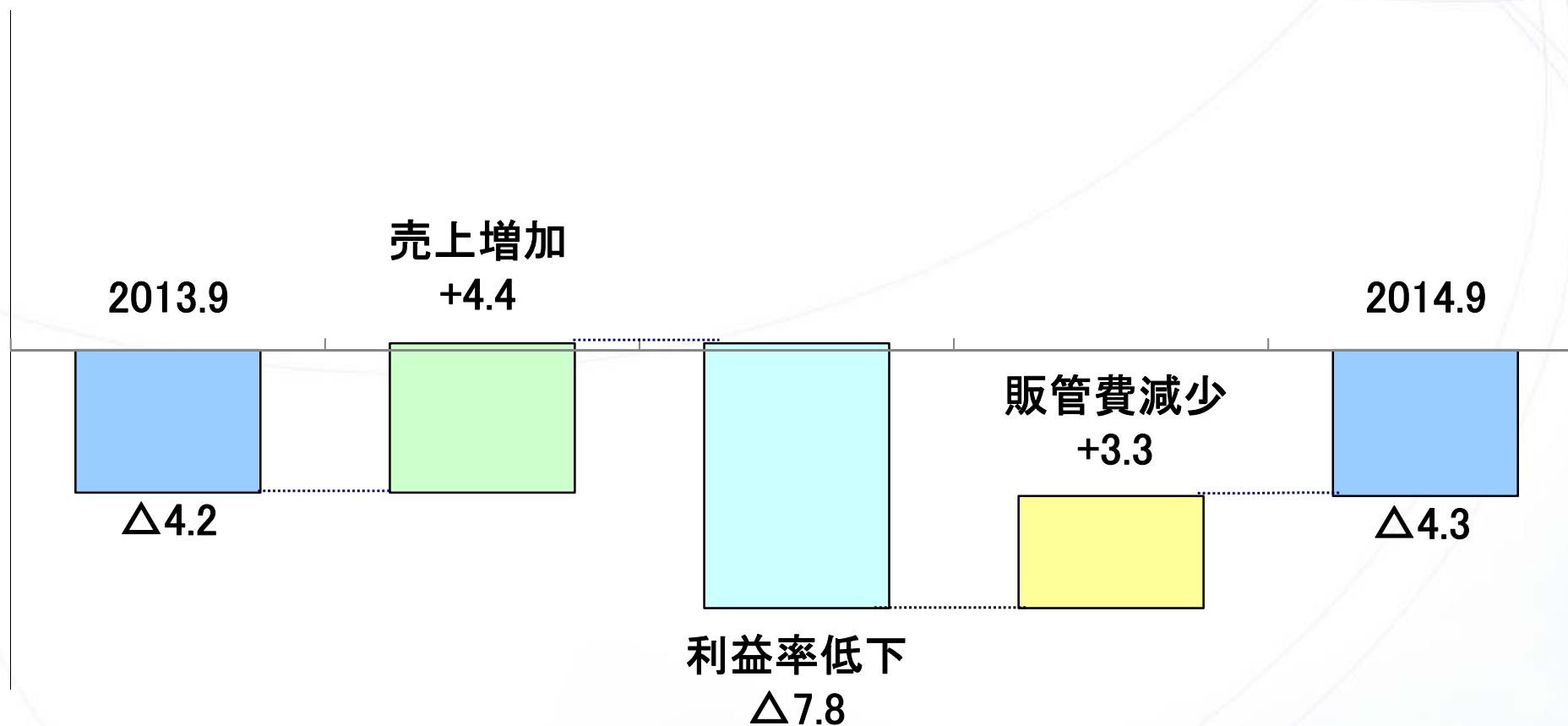
海外地域別売上高



東南アジア 台湾 中国

2015年3月期 上期営業利益分析(要因別)

(単位:億円)



※売上増加と利益率低下は、売上総利益率を用いて算出しています。

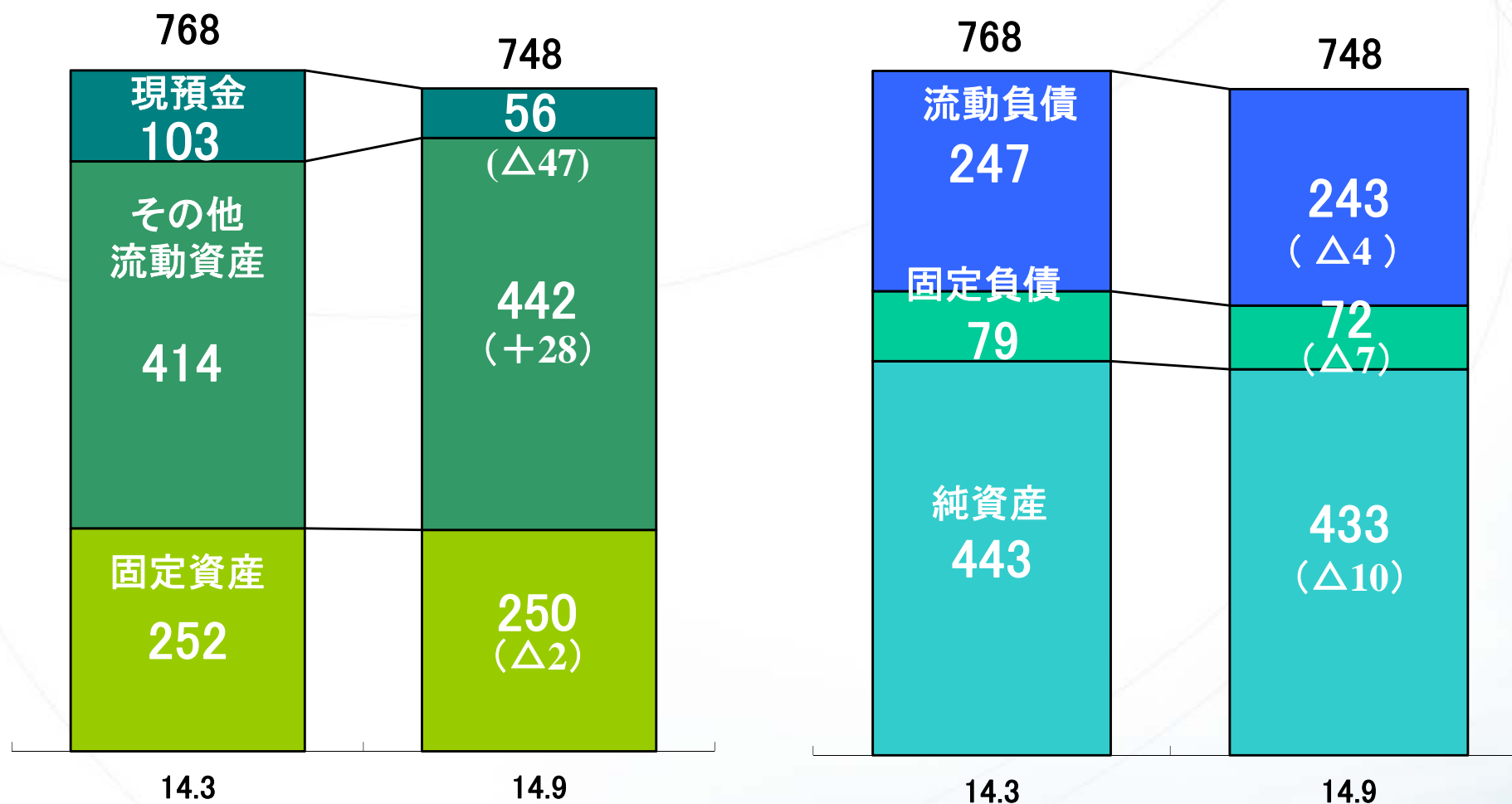
貸借対照表

資産の部

負債・純資産の部

(単位:億円)

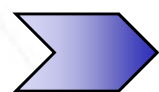
(単位:億円)



上期の主な取り組み

◆ 非塩素系酸化剤含有スライムコントロール剤上市 (2014年7月販売開始)

- 独自開発した酸化剤含有
- 高い安全性: 新規に化審法登録
- 優れた殺菌・殺藻能力
- 金属腐食性・RO膜劣化障害 低
- 高い安定性: タンクや水中での活性保持
- 低環境負荷: 処理水中TOC・COD低減、
補給水節約、薬剤添加量抑制



冷却水処理剤「オルブレイドJシリーズ」
RO膜用処理剤「オルパージョンEシリーズ」

上期の主な取り組み

◆クロマト分離技術を利用した 米ぬかからの高純度セラミド連続精製技術を開発

「新JO方式クロマト分離装置」

- 3成分以上の分離・精製が可能なオルガノ独自のクロマト分離技術
- 糖類などの生産プロセス向けに実績多数

適用



高純度セラミド連続製造技術を開発

((独)農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)、日本製粉(株)との共同開発)

従来の天然セラミド

- 10%程度の低純度品
- 不純物由来の色、臭い:用途が限定



- 95%以上の高純度品の連続生産可能
- 化粧品や医薬品、研究用途として新たな活用法が期待

上期の主な取り組み

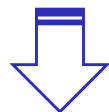
◆ 土壌・地下水調査、浄化事業の強化

- 事業をオルガノに集約(2014年10月～)
プラント事業部基幹産業ビジネスユニットに土壌・地下水グループを設置、各支店に担当者を配置
⇒ オルガノグループのネットワークを活用した営業力強化

ねらい

市場拡大の見通し

- ◆ 東京環状線整備工事
- ◆ 2020年東京オリンピック開催
- ◆ リニアモーターカー計画



増加が予想される案件に適切に対応するべく営業・技術体制を強化

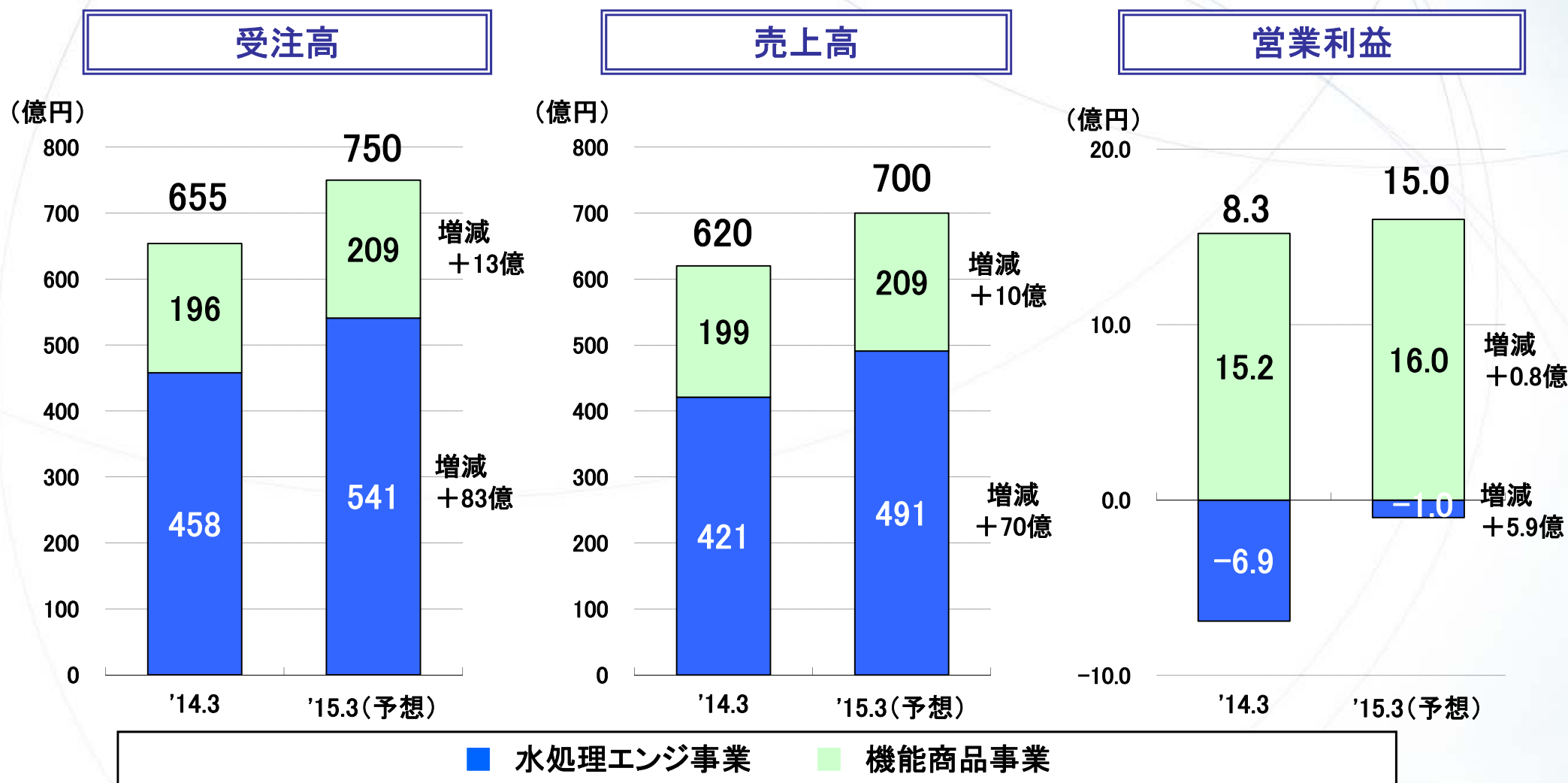
水処理に係る顧客の幅広いニーズに応える「ワンストップソリューション」を強化・推進

2015年3月期 通期決算予想

(単位:億円)

	14.3 通期	15.3 期初計画	15.3 通期予想	前期比	計画比
受注高	655	750	750	+ 95	-
売上高	620	700	700	+ 80	-
売上総利益 (%)	145 (23.4%)	154 (22.0%)	147 (21.0%)	+ 2 (-2.4pt)	△ 7 (-1.0pt)
販管費	137	139	132	△ 5	△ 7
営業利益	8	15	15	+ 7	-
経常利益 (%)	11 (1.9%)	14 (2.0%)	14 (2.0%)	+ 3 (+0.1pt)	-
当期純利益	6	9	9	+ 3	-

2015年3月期 通期予想(セグメント別)

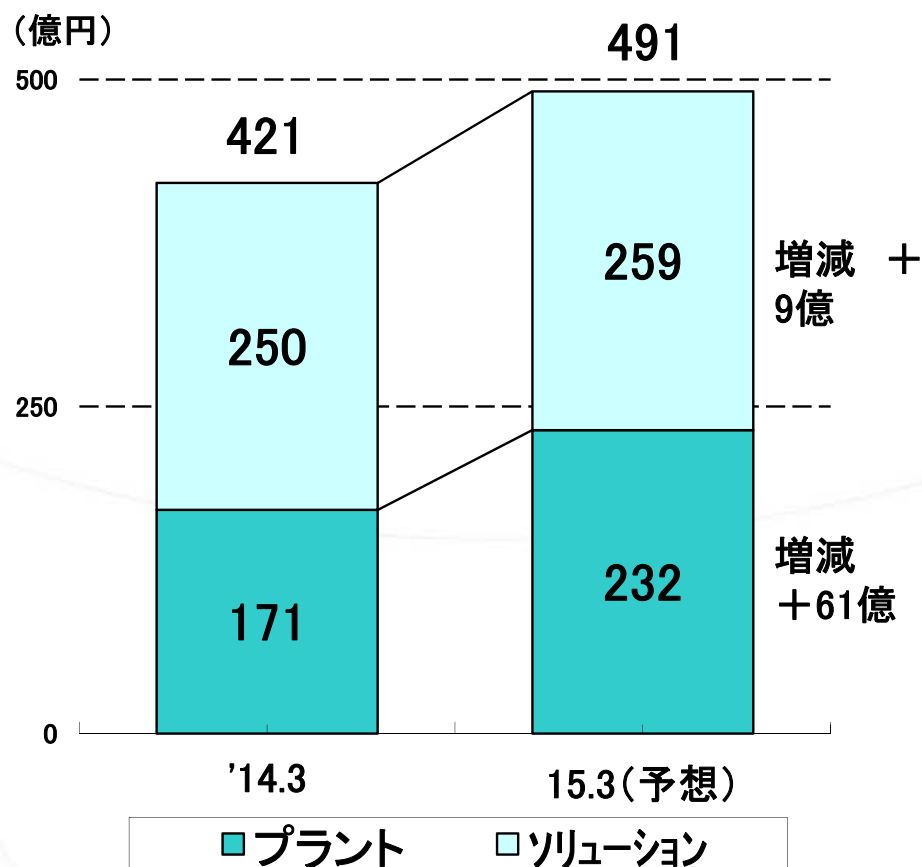


【水処理エンジ事業】：受注高については、国内外の一般産業向けや国内電子産業向けプラントで増加を見込む。売上高については、国内電子産業や医薬向けプラント、排水プラントの伸長などにより増加を見込む。営業利益については、売上拡大により改善を見込む。

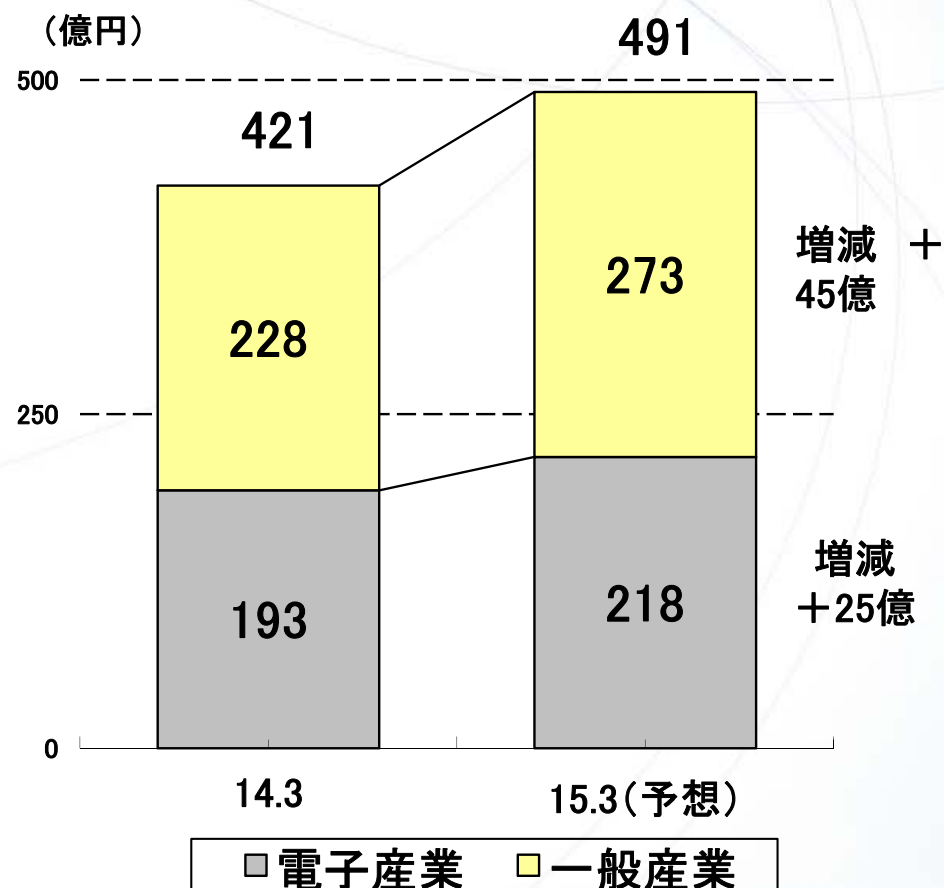
【機能商品事業】：新商品の開発やリニューアルなどにより増加を見込む。

部門・顧客別売上高(水処理エンジニアリング事業)

部門別売上高



顧客別売上高



【プラント】：国内電子産業向けプラントや医薬・食品向けプラント、排水プラントの伸長などにより増加を見込む。

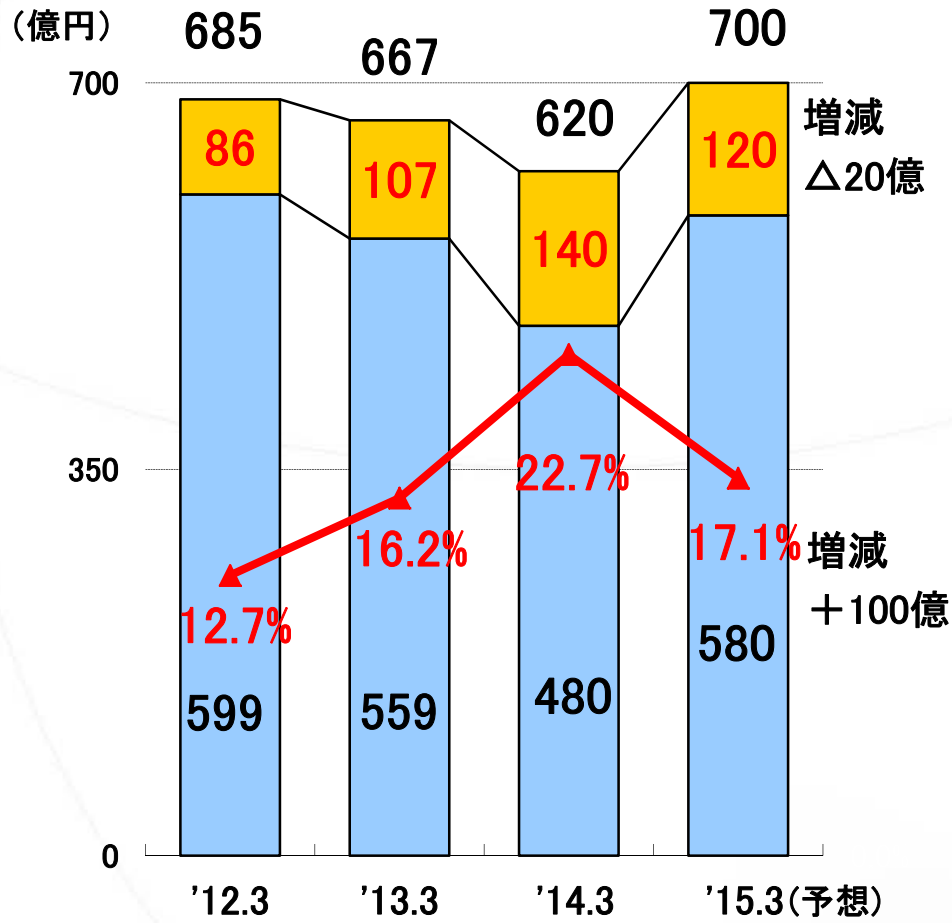
【ソリューション】：国内の産業全般のメンテナンスの伸長などにより増加を見込む。

【電子産業】：国内プラントの伸長により増加を見込む。

【一般産業】：国内医薬向けプラントや排水プラントの伸長、海外火力発電所向けプラントの伸長などにより増加を見込む。

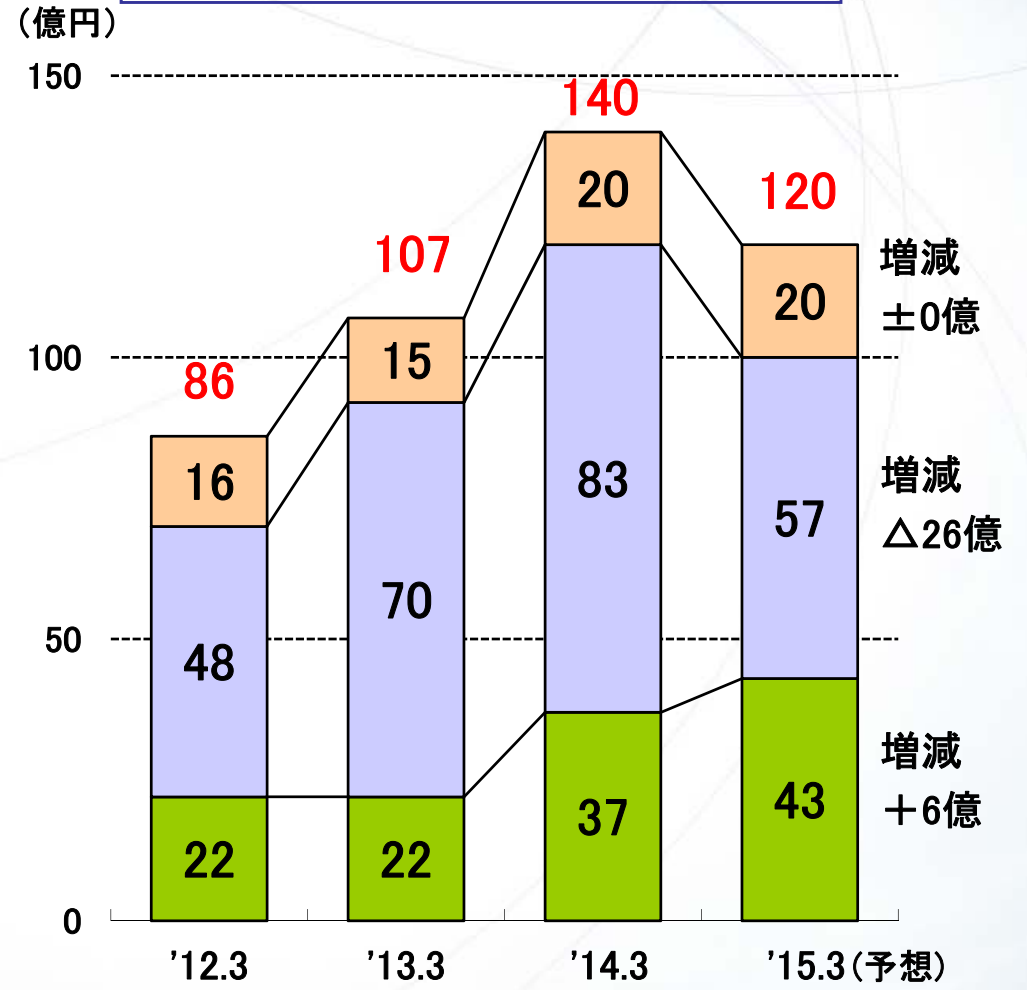
地域別売上高

国内・海外別売上高



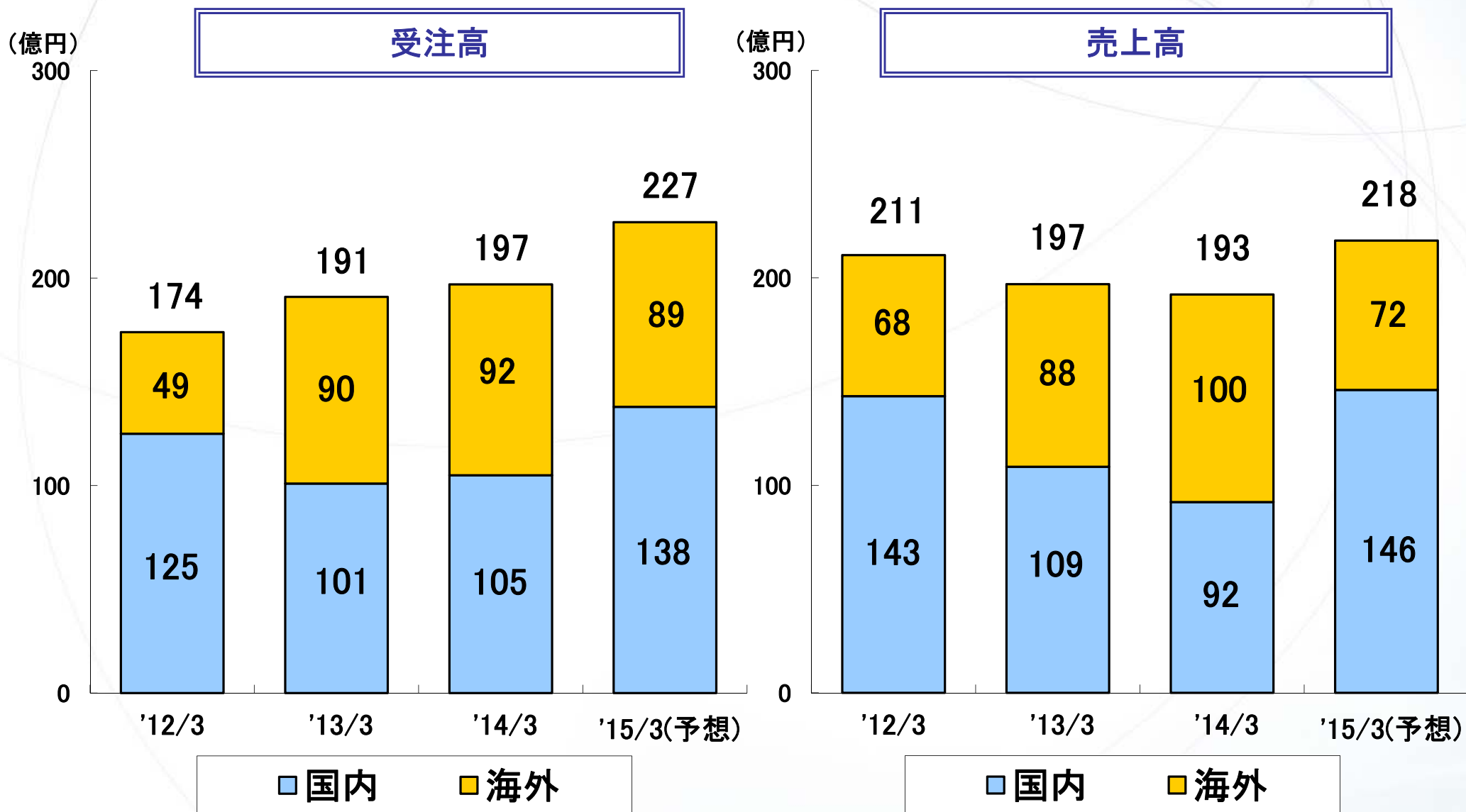
■ 国内 ■ 海外 ▲ 海外比率

海外地域別売上高



■ 東南アジア ■ 台湾 ■ 中国

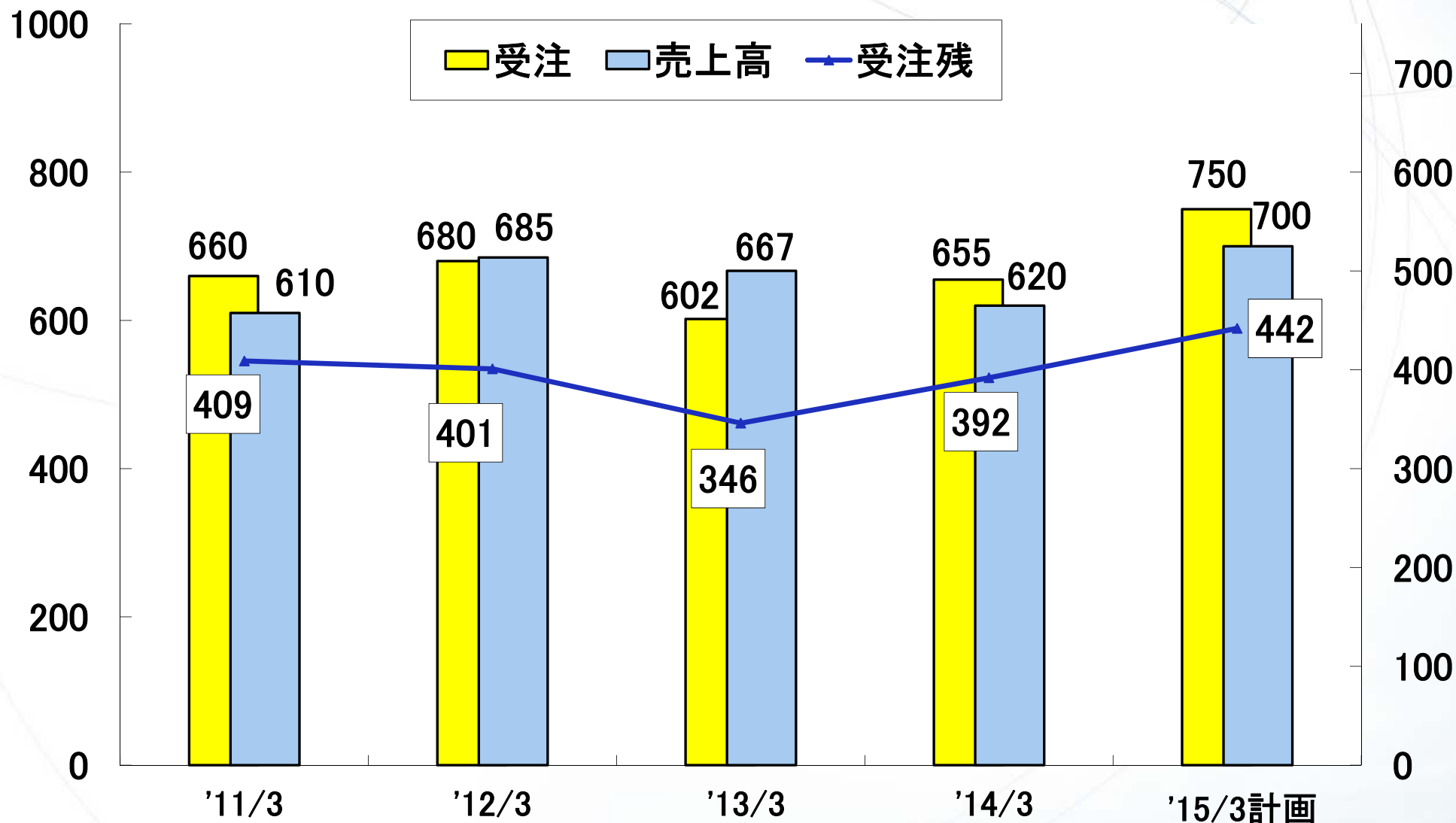
電子産業向 受注高／売上高推移



受注高・売上高・受注残高推移

受注／売上(億円)

受注残(億円)



主な指標

(単位:億円)

	14年3月期	15年3月期(計画)	15年3月期(予想)
設備投資額	3	8	7
技術研究費	14	16	15
減価償却費	10	10	10
有利子負債	102	112	120
従業員数(人)	1,896	1,910	1,920
配当金(円)	8.0/年間配当	8.0/年間配当	8.0/年間配当

今後の取り組み【国内産業全般拡大】

水処理エンジニアリング事業

電子産業

- ✓ 国内電子産業案件の確実な受注

一般産業

- ✓ 医薬、食品、化学等…用排水事業強化
- ✓ 水道分野…明電舎との協業による受注拡大
- ✓ 電力分野…石炭・LNG火力案件対応強化
- ✓ 土壌・地下水調査、浄化事業拡大

ソリューション

- ✓ 改造・メンテナンス等の更なる拡大

機能商品事業

新商品開発、リニューアルの継続

標準型水処理装置

水処理薬品

- ✓ 新製品拡販
- ✓ 片山ナルコとの協業

食品加工材

コストダウン・工事力の強化

今後の取り組み【海外事業拡大】

Globalizationの推進

- ✓ 非日系顧客への営業展開強化
- ✓ エンジニアリングセンター(タイ)の活用:
地域市場特性に応じた技術・商品開発の推進
- ✓ プロキュアメントセンター(タイ)の活用:購買力強化、コストダウンの推進

発電所案件への営業力強化

電子産業分野ニーズへの対応強化

海外事業拠点の体制強化

本日はご出席頂きまして
誠にありがとうございました。

(お問合せ先)
オルガノ株式会社
〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8
経営企画部 (担当 竹井)
TEL 03-5635-5111
FAX 03-3699-7240
URL <http://www.organo.co.jp>

本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。